

2. 評価結果 (詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	第1に、地域とのふれあい、第2に、介護サービスの信念が掲げられ、明快で理解しやすく、誰でも、納得のいく理念となっている。また、最初に目につく玄関に大きく掲げられている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	毎朝、職員全員で唱和し、日々の仕事の中で具体化している。言葉かけや態度などからも、職員が意識しながら理念の実践に努めていることが認められる。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	農村の一角に在るため、農作業をする人々とのふれあいは常に有り、ホームの行事には、区長や民生委員をはじめ、地区民が集まってくる。天気の良い日は、地域の中に出向き、ふれあいを深めている。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価実施に対し、運営者をはじめ全職員が意義を理解しており、毎日のケアに生かしながら、事業所の質の向上に努めている。		

宮崎県川南町 グループホームさざんか園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	区長、民生委員、区民、家族代表、町職員等から構成されており、さまざまな意見や質問、時には講演なども開いて、地域の中の事業所として質向上を図っている。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	行政との連携は密で、普段から行政職員の訪問も多く、さまざまな面で協力してもらっている。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	毎月1回は、全ての家族が事業所を訪問することになっており、その際、利用者の暮らしぶりやエピソード、心身の状況などあらゆる面について話し合っている。また、2か月に一度、手書きの園便りに職員のコメントをつけ家庭へ送っている。		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	苦情を受けたことはないが、さまざまな意見を聞かせてほしいと事業所からお願いしている。意見や不満があれば、すぐに運営に反映させる意向である。		
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	平成15年の創設以来、職員1名が家族介護の理由で辞職しただけで、職員の異動はない。仮に異動が生じた場合は、引き継ぎの期間を十分に取り、利用者の動揺が起きないように配慮する考えでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	行政等が実施する研修の外、グループ独自で他の事業所へ視察研修する等、職員の育成には力を入れている。		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じ町内の同業者と年3回交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会・相互訪問等の活動を通じて、資質の向上に取り組んでいる。		
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	生活歴や家族からの話を参考にして、利用者一人ひとりの性格等を理解しており、職員間でも話し合い、その場の雰囲気に応じて、徐々になじむよう納得のうえでサービスを実施している。スキンシップのためのオイルマッサージは好評である。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	平成16年度から地域組合からの依頼で、大豆の選別作業やしその葉そろえなど、利用者が手伝っている。(組合従業員3名程が参加し事業所にて行う)利用者も昔の経験から上手で楽しみながら作業をこなし、喜ばれている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日ごろのコミュニケーションの中で、思いを聞いたり、昔話しをしながら希望を聞いたり、家族にも確かめながら、本人本位に検討している。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	利用者は平均80歳を越える年齢であり、同じ地域の人々であるため、地域でのなじみを多く取り入れている。付近の散歩や木の実や花などを観賞して楽しむことが体力や気持ちの維持を助長すると考え、ケア計画に生かしている。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3か月で見直しをしている。日誌や状態等から変化の兆しがある場合は、見直しの段階で新たな計画に反映させている。また、作成に当たり、職員会議、本人、家族との話し合いを行っている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	広い敷地を利用し、屋外での食事や行事を開き、家族や地域の人々も集まる機会を催している。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	各利用者の掛かりつけ医及び協力医療機関として、江藤歯科、尾鈴・木城クリニックがあり、本人・家族とも常に話し合い、医師の往診もできる状況にある。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	入居する段階で家族と話し合い、事業所で終末期まで看取ることの同意を得ている。その際、家族の協力、病院・看護支援センターの協力を受けることで契約している。		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報取り扱いをしていない	利用者への声かけや誘導時の対応など配慮が行き届いていた。理念の中にも掲げられており、全職員が意識している。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	その人のペースに沿った見守りがされている。		

宮崎県川南町 グループホームさざんか園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	利用者の能力に応じて、一緒に準備や食事がされており、職員全員が利用者と共に食卓に着き、絶えず話題を交えた食事風景で楽しく感じた。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	2日に一度の入浴で、夏の時期は午前中に、冬の時期は午後にする。しゅう恥心や恐怖心を抱かぬよう、声かけを絶えず行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	利用者一人ひとりの能力に応じて、手伝いをお願いしている。また、晩酌を楽しむ方には差し上げている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外での昼食、買物ドライブ、付近の散歩等を天候次第で実施している。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	夜間のみ施錠をしている。		

宮崎県川南町 グループホームさざんか園

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	年に一度、消防署が来て地区民も参加し、防災訓練を実施している。地域住民の協力は得ている。		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養バランスや水分量は一日を通じて確保されている。月1回は、保健センターにチェックを依頼している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	共用空間が広く取られ、採光採風とも十分に入り、静かな音楽も流れている。付近の環境とも調和して生活感や季節感が実感でき、居心地の良いホームである。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	家庭で使い慣れていたものや好みのものが各部屋には置いてあり、本人が居心地よく過ごせるよう工夫をしている。		

※  は、重点項目。